

天理医療大学学則

第1章 総 則

(目的)

第1条 天理医療大学（以下「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法に則り、人に尽くすことを自らのよろこびとするという天理教の信条教育を基調として、広く知識を獲得し、医療に関わる専門性の高い技術を習得し、真摯に科学する精神を育み、人に対する深い愛情と自分を律する謙虚な心をもった人材を育成することを目的とする。

2 前項の目的及び社会的使命の達成のために必要な事項を定める。

(自己点検と評価)

第2条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的を達成するために、本学における教育研究活動並びに組織及び運営等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2 前項の点検評価項目及び実施体制に関する規程は別に定める。

(教育内容等の改善)

第3条 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るため、組織的な研修及び研究を行う。

(学部及び学科)

第4条 本学に、医療学部を置く。

2 医療学部に必要な学科を置く。

(1) 看護学科

(2) 臨床検査学科

(学生定員)

第5条 本学の学生定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
医療学部	看護学科	70名	280名
	臨床検査学科	30名	120名
計		100名	400名

(修業年限)

第6条 本学の修業年限は、4年とする。

(在学年限)

第7条 学生は8年を超えて在学することはできない。

第2章 教職員

(教職員)

第8条 本学に必要な教職員を置く。

(1) 学長

(2) 学部長

(3) 学科長

(4) 教員等：教授、准教授、講師、助教及び助手

(5) 職員等：事務局長、事務職員、その他職員

2 前項の教職員の組織及び職務に関しては、別に定める諸規定及び諸細則による。

(特任教職員等)

第9条 本学の運営及び教育の充実を図るために、次の教職員を置くことができる。

- (1) 特任教員：特任教授、特任准教授、特任講師
- (2) 臨床教員：臨床教授、臨床准教授、臨床講師
- (3) 非常勤講師
- (4) 特任職員

2 前項の教職員の組織及び職務に関しては、別に定める諸規定及び諸細則による。

(学長等の選任)

第10条 学長、学部長及び学科長の選任は、天理よろづ相談所学園理事会（以下「理事会」という。）が行う。

(事務局)

第11条 本学に事務局を置く。

2 事務局長は理事会が任命する。

(教育・研究審議会)

第12条 本学に教育・研究審議会を置く。

(教育・研究審議会の構成)

第13条 教育・研究審議会は、次の各項目の委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 専任教授
- (3) 大学事務局長

2 前項の規定にかかわらず、教育・研究審議会が必要と認めたときは、その他の教職員を加えることができる。

(教育・研究審議会の審議事項)

第14条 教育・研究審議会は、次の事項について審議する。

- (1) 学部または学科の教育研究計画及び教育課程の編成に関する事項
- (2) 教育内容及び授業方法の改善に関する事項
- (3) 学部の教育研究に関する組織や制度の整備・改変に関する事項
- (4) 入学者選抜に関する事項
- (5) 学生の試験及び単位の認定に関する事項
- (6) 学生の留学、休学、退学、卒業等の学籍及び学位授与に関する事項
- (7) 学生の生活、厚生、進路等の指導・支援及び賞罰に関する事項
- (8) 教育・研究審議会の下に設置された委員会等の規則等の制定及び改廃に関する事項
- (9) 教育・研究審議会の下に設置された委員会委員等の選出に関する事項
- (10) その他教育研究に関する重要事項

(その他)

第15条 本章に定めるもののほか、教育・研究審議会の運営に関して必要な事項は別に定める。

(運営審議会)

第16条 本学に運営審議会を置く。

(運営審議会の構成)

第17条 運営審議会は、次の各項目の委員をもって組織する。

- (1) 理事会理事
- (2) 学長
- (3) 学部長
- (4) 学科長
- (5) 法人事務局長
- (6) 専任教授
- (7) 前号に規定する以外の者

2 学長、学部長、学科長、法人事務局長以外の委員は、理事会が任命する。

(運営審議会の審議事項)

第18条 運営審議会は、次の事項について審議する。

- (1) 大学の予算に関する事項
- (2) 大学の広報に関する事項
- (3) 大学の将来計画に関する事項
- (4) 大学の教員・教育組織の能力開発に関する事項
- (5) 大学の安全管理に関する事項
- (6) IT環境の整備・拡充に関する事項
- (7) 運営審議会の下に設置された委員会等の規則等の制定及び改廃に関する事項
- (8) 運営審議会の下に設置された委員会委員等の選出に関する事項
- (9) その他大学の運営に関する重要事項

(その他)

第19条 本章に定めるもののほか、運営審議会の運営に関して必要な事項は別に定める。

(点検・評価審議会)

第20条 本学に点検・評価審議会を置く。

(点検・評価審議会の構成)

第21条 点検・評価審議会は、次の各項目の委員をもって組織する。

- (1) 理事会理事
- (2) 学長
- (3) 学部長
- (4) 学科長
- (5) 大学事務局長
- (6) 専任教授
- (7) 前号に規定する以外の者

2 学長、学部長、学科長、大学事務局長以外の委員の選任は、理事会が行う。

(点検・評価審議会の審議事項)

第22条 点検・評価審議会は、次の事項について審議する。

- (1) 教員の選考に関する事項
- (2) 教員の評価に関する事項
- (3) 教育・研究の評価に関する事項
- (4) 自己点検評価の実施に関わる事項

- (5) 教育・研究に関わる倫理に関する事項
- (6) 学生・教職員の人権に関する事項
- (7) 教職員の賞罰に関する事項
- (8) 点検・評価審議会の下に設置された委員会等の規則等の制定及び改廃に関する事項
- (9) 点検・評価審議会の下に設置された委員会委員等の選出に関する事項
- (10) その他大学の人事・倫理・人権に関する重要事項

(その他)

第23条 本章に定めるもののほか、点検・評価審議会の運営に関して必要な事項は別に定める。

(委員会)

第24条 本学に必要な委員会を置くことができる。

第3章 学年・学期及び休業日

(学年)

第25条 本学の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第26条 前条規定の学年は、次の2学期に分ける。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から翌年3月31日まで

ただし、特別な事情があり、学長が教育上必要と認めた場合は、学期の区分にかかわらず臨時に授業を行うことができる。

(休業日)

第27条 本学の休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(3) 天理教祭日 4月18日 10月26日 1月26日

(4) 創立記念日 4月1日

(5) 夏期休業、冬期休業、春期休業については、年度ごとに定める。

2 学長が必要と認めた場合は、運営審議会の議を経て前各号の期日を変更し、または臨時に休業日を定めることができる。

第4章 教育課程

(授業期間)

第28条 1年間の授業を行う期間は、試験等の期間を含め、年間35週にわたることを原則とする。ただし、教育上の必要がある場合は、定時間外に臨時授業を行うことがある。

(授業科目の区分)

第29条 本学の授業科目の区分は、総合基礎科目、共通専門基礎科目、専門科目とする。

(授業科目及び単位)

第30条 本学の授業科目及び単位は別表第1に定めるとおりとし、天理医療大学履修規則によって履修しなければならない。

第5章 入学

(入学の時期)

第31条 入学期は学年の始めとする。

(入学の資格)

第32条 本学に入学することのできる者は、つぎの各号の一に該当するものでなければならない。

- (1) 高等学校を卒業した者（中等教育学校の後期課程を含む）
- (2) 通常の規程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む）
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 大学入学資格検定規程により、文部科学大臣の行なう大学入学検定に合格した者
- (7) その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者。

(入学の選考)

第33条 入学志願者に対しては、別に定めるところによって、選考を行う。

(入学の出願)

第34条 入学志願者は、指定の期日中に所定の書類を提出し、別に定める入学検定料を納入しなければならない。

2 既納の入学検定料は、いかなる理由があっても返却しない。

(入学手続き)

第35条 入学の選考に合格した者は、指定の期日までに次の各号に掲げる書類その他を提出し、所定の入学金・初年度の授業料・実習費・教育設備充実費・その他を納入しなければならない。

- (1) 住民票（住民票記載事項証明書）
- (2) 第37条に定める在学保証書
- (3) 出身学校の卒業又は修了証明書
- (4) 写真（最近3カ月以内に撮影した半身・正面・脱帽）
- (5) 第32条第3項に該当する外国人にあつては、我が国に駐在する該当国の政府機関の証明書又は推薦書

(入学宣誓簿への署名)

第36条 本学に入学を許可された者は、所定の宣誓簿に署名しなければならない。

(保証人)

第37条 本学に入学するにあたっては、保証人を必要とする。

- 2 前項の保証人は、独立の生計を営む成年者で、学生の身上に関して一切の責任を負うものとする。
- 3 第1項規程の保証人が、その要件を欠くに至った場合は、改めて保証人を定め、直ちに在

学保証書を更新しなければならない。

(改名及び転居の届出)

第38条 学生又は保証人が、改名又は転居した場合は、直ちに届け出るものとし、学生が改名した場合は、住民票（住民票記載事項証明書）を提出しなければならない。

第6章 休学、復学及び退学

(休学)

第39条 学生が、病気その他やむを得ない事由により就学できない場合は、学長の許可を得て休学することができる。

2 休学願には本人及び保証人の連署を必要とし、病気により休学する場合は医師の診断書を添付しなければならない。

3 休学期間は当該年度以内とする。ただし、特別の事由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることがある。

4 休学期間は、第7条に規定する在学期間に算入する。

(復学)

第40条 休学者が復学する場合は、学長の許可を得て、学年度当初に原学年に復学することができる。

2 復学願には保証人の連署を必要とし、病気により休学した場合は、天理よろづ相談所病院の診断書を必要とする。

3 復学願の様式は別に定める。

(転入学)

第41条 他大学からの転入学は許可しない。

(他学科への移籍)

第42条 本学在学中は、他学科に転ずることはできない。

(退学)

第43条 学生が、病気及びその他やむを得ない事由により退学するときは、本人及び保証人の連署の退学願を提出し、学長の許可を得なければならない。

2 退学願の様式は別に定める。

(除籍)

第44条 つぎの各号の一に該当する者は、教育・研究審議会の議を経て学長が除籍を命じることができる。

(1) 所定の最長在学年数を超えた者

(2) 所定の休学期間を超えてなお修学できない者

(3) 長期にわたり行方不明の者

(4) 正当な理由なく所定の期日までに授業料等の納付を怠り、催促してもなお納付しない者

(5) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(6) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第7章 試験及び進級

(試験)

第45条 試験は、授業を行った全授業科目について行う。

2 試験の期間及び方法については、教育・研究審議会で定める。

(受験資格喪失)

第46条 各授業科目の欠席が、別に定める基準をこえた場合、その授業科目の受験資格を失う。

(受験停止)

第47条 定期健康診断を受診しない者は、試験を受けることはできない。

(試験の成績評価及び単位認定)

第48条 各授業科目の試験に合格した者には、別表第1に規定する単位を与える。

2 試験の成績評価方法は別に定める。

(単位互換)

第49条 本学が教育上有益と認めるときは、別に定めるところによりほかの大学または短期大学、専修学校において履修した授業科目について、修得した単位を60単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

(進級)

第50条 各学年に配当された必修科目のすべての単位と選択必修の各学年に必要な単位を修得しなければ進級できない。

第8章 卒業及び学位

(卒業)

第51条 4年以上在学し、つぎの各号に定める単位について、天理医療大学履修規則に定めるところにより修得した者には、教育・研究審議会の議を経て学長が卒業を認定し、卒業証書を授与し、あわせて学士の学位を授与する。

(1) 医療学部 看護学科 124単位以上

(2) 医療学部 臨床検査学科 124単位以上

(学位)

第52条 本学が授与する学士の学位に付記する専攻分野の名称は、つぎの各号に定めるとおりとする。

学部・学科	専攻分野
医療学部・看護学科	学士・看護学
医療学部・臨床検査学科	学士・臨床検査学

(卒業生が取得できる資格)

第53条 本学において取得することのできる資格は、次のとおりである。

学部・学科	資格
医療学部・看護学科	看護師国家試験受験資格
医療学部・臨床検査学科	臨床検査技師国家試験受験資格

第9章 科目等履修生・特別聴講学生及び委託学生

(科目等履修生)

第54条 本学の学生以外の者で、一または複数の授業科目の履修を希望する者（「科目等履修生」という）がある時は、当該授業科目所属の学科（課程を含む）において適当と認められた者につきこれを許可する。ただし、第32条の各号の一に該当する者に限る。

（科目等履修生の修学期間）

第55条 科目等履修生の願いでは学期始めとし、科目等履修生の就業期間は原則として、当該年度末までとする。

2 年度を越えて引き続き科目等履修生として授業科目の履修を希望する者は、改めて願い出なければならない。

（科目等履修生の単位認定）

第56条 科目等履修生であって所定の科目試験に合格し単位認定を受けた場合は、請求により単位修得証明書を交付する。

（特別聴講生）

第57条 他の大学または短期大学との協議に基づき、当該大学在学中の学生で本学の授業科目の履修を希望する者がある時は、別に定めるところにより、特別聴講学生としてこれを認めることができる。

（委託学生）

第58条 官庁または公共団体から、1年以上を在学期間として受講科目を定めて入学を願い出た場合は、選考のうえ委託学生として入学を許可することがある。

（委託学生の単位認定）

第59条 委託学生であって所定の科目を修めその試験に合格した者には、修了証書を授与する。

（科目等履修生、委託学生の学則の準用）

第60条 科目等履修生、特別聴講生及び委託学生には、別に定めるものを除くほか本学則を準用する。

第10章 特別研究員

（特別研究員）

第61条 本学の研究の発展のために、本学以外のものを特別研究員とすることができる。

2 特別研究員は、本学教員と共同研究を行うものとする。

3 特別研究員にかかわる事項については、別に定める。

第11章 入学金・授業料等

（授業料等の種類及び額）

第62条 入学金・授業料・実習費・教育設備充実費は別表第2に定めるとおりとし、その納入及びその他については別に定める。

（授業料等の納入）

第63条 前条に定める入学金・授業料・実習費・教育設備充実費・その他は、所定の期日までに納入しなければならない。

（授業料等の不還付）

第64条 既に納入した第63条に定める入学金・授業料・実習費・教育設備充実費・その他は、返還しない。

(休学者の授業料等)

第65条 休学を許可された者及び命ぜられた者についての授業料・実習費・教育設備充実費・その他は、別に定める。

(退学者の授業料等)

第66条 学年の途中において退学する者は、退学の日属する学期分の授業料・実習費・教育設備充実費・その他を納入しなければならない。

第12章 賞 罰

(褒章)

第67条 学生で優秀な研究をした者、または他の学生の範となるべき行為をした者に対して、学長は教育・研究審議会の意見を徴し、これを褒章することができる。

(懲戒)

第68条 学生にその本分に反する行為のあったときは、教育・研究審議会の議を経て、学長が懲戒することができる。

2 懲戒は、譴責、停学、除籍とする。

第13章 図 書 館

(図書館)

第69条 本学に図書館を置く。

2 図書館長には本学教授をもってあてる。

3 図書館に関する規定は、別に定める。

第14章 保 健

(健康診断)

第70条 学生及び教職員のために、毎年定期的に健康診断を行う。

(保健室)

第71条 本学に保健室を設け、学生及び教職員のための健康相談に応じ、必要な場合は救急処置を行う。

2 本学の学生及び教職員は財団法人天理よろづ相談所病院で健康診断始め必要な治療に便宜が受けられる。

附則

1 本学則は、平成24年4月1日より施行する。

2 改正学則は、平成26年4月1日より施行する。

3 改正学則は、平成26年4月25日より施行する。

ただし、改正別表2は平成27年度入学生（第4期生）から適用するものとし、改正施行時の在學生はなお従前の額とする。

4 改正学則は、平成26年9月19日より施行する。

別表1（第30条関係）

○医療学部看護学科

1. 総合基礎科目

(1) 人間と社会（いのちの尊厳、人間の理解を深める）

① 心と身体

科目名	単位	
	必修	選択
生命と科学	1	
宗教と科学	1	
発生・分化・再生		1
生物学・遺伝学		1
化学		1
物理学		1
身体論Ⅰ（身体の人類学）	1	
身体論Ⅱ（身体の生理学）		1
心理学	1	
臨床心理学		1
発達とライフサイクル	1	

② 生活と社会

科目名	単位	
	必修	選択
環境とくらし		1
文化とくらし	1	
政治経済とくらし		1
法律とくらし		1
家族社会学		1

③ 芸術とコミュニケーション

科目名	単位	
	必修	選択
生命と芸術実践演習Ⅰ（複合身体表現A）		1
生命と芸術実践演習Ⅱ（複合身体表現B）		1
生命と芸術実践演習Ⅲ（演劇表現A）		1
生命と芸術実践演習Ⅳ（演劇表現B）		1
生命と芸術実践演習Ⅴ（身体表現A）		1
生命と芸術実践演習Ⅵ（身体表現B）		1
生命と芸術実践演習Ⅶ（複合コミュニケーション表現A）		1
生命と芸術実践演習Ⅷ（複合コミュニケーション表現B）		1

④ 言語と国際性

科目名	単位	
	必修	選択
英語Ⅰ Reading, Writing	1	
英語Ⅱ 英会話		1
英語Ⅲ 医療英語		1
外国語学研修		1

(2) 協働的医療実践の基礎

科目名	単位	
	必修	選択
人間関係とコミュニケーション	1	
相互扶助論Ⅰ（共同的活動演習）	1	
相互扶助論Ⅱ（援助・支援関係形成演習）		1
フレッシュマン・セミナー	1	
医療の歴史と現在		1
医療における科学的思考	1	
保健統計学	1	
医療安全学Ⅰ（概論）	1	
医療実践基礎実習	1	
情報科学演習Ⅰ（基礎）	1	
情報科学演習Ⅱ（応用）		1

2. 共通専門基礎科目

(1) 体のしくみと医療

科目名	単位	
	必修	選択
医療概論	1	
生化学	1	
生化学実験		1
栄養学	1	
臨床栄養学	1	
薬理学Ⅰ（総論）	1	
薬理学Ⅱ（各論）	2	
感染とその防御	1	
体のしくみと疾病の成り立ちⅠ（病態生理・骨格・神経・感覚）	2	
体のしくみと疾病の成り立ちⅡ（呼吸・循環）	2	
体のしくみと疾病の成り立ちⅢ（消化・栄養）	2	
体のしくみと疾病の成り立ちⅣ（腎尿路・内分泌）	2	
体のしくみと疾病の成り立ちⅤ（免疫・感染）	2	
体のしくみと疾病の成り立ちⅥ（生育・血液・代謝）	2	

(2) 協働的医療実践の展開

科目名	単位	
	必修	選択
関係法規	1	
保健医療福祉行政論	1	
衛生管理学		2
社会福祉原論	1	
障がい論	2	
医療安全学Ⅱ（実践論）		1
総合臨床演習		1

3. 看護学科専門科目

(1) 共通基盤看護学

科目名	単位	
	必修	選択
共通基盤看護学概論Ⅰ（看護の概念の探究）	2	
共通基盤看護学概論Ⅱ（発達段階の特徴と看護）	2	
実践基礎論Ⅰ（活動することを支える看護方法）	2	
実践基礎論Ⅱ（生きていくしくみを支える看護方法）	2	
実践基礎論Ⅲ（フィジカルアセスメント）	2	
実践基礎看護学実習（生活を整える看護）	1	
共通基盤看護学実習Ⅰ（看護過程と看護診断）	1	
共通基盤看護学実践論Ⅰ（健康回復過程を支える看護）	2	
共通基盤看護学実践論Ⅱ（セルフケアを支える看護）	2	
共通基盤看護学実践論Ⅲ（急性期療養過程を支える看護）	2	
共通基盤看護学実習Ⅱ（健康回復過程を支える看護）	2	
共通基盤看護学実習Ⅲ（セルフケアを支える看護）	2	
共通基盤看護学実習Ⅳ（急性期療養過程を支える看護）	2	

(2) 臨床応用看護学

科目名	単位	
	必修	選択
老年看護学概論	1	
老年看護学実践論Ⅰ（高齢者の健康）	1	
老年看護学実践論Ⅱ（高齢者の生活を支える看護）	1	
老年看護学実践論Ⅲ（特徴的疾患と看護）	1	
老年看護学実習Ⅰ（生活の場の変化と健康）	2	
老年看護学実習Ⅱ（健康レベルの変化に応じた看護）	2	
母性看護学概論	1	
母性看護学実践論Ⅰ（女性のライフサイクルと健康）	1	
母性看護学実践論Ⅱ（周産期の看護）	2	
母性看護学実習	2	
小児看護学概論	1	
小児看護学実践論Ⅰ（健康な子どもの発達と看護）	1	
小児看護学実践論Ⅱ（治療過程にある子どもと看護）	1	
小児看護学実践論Ⅲ（子どもの特徴的疾患と看護）	1	
小児看護学実習Ⅰ（健康な子どもの発育と看護）	1	
小児看護学実習Ⅱ（治療過程にある子どもと看護）	2	
精神看護学概論	1	
精神看護学実践論Ⅰ（こころの健康を支える）	1	
精神看護学実践論Ⅱ（生活の場における看護）	1	
精神看護学実践論Ⅲ（治療過程での看護）	1	
精神看護学実習Ⅰ（地域の支援と看護）	1	
精神看護学実習Ⅱ（医療施設における看護）	1	

(3) 広域発展看護学

科目名	単位	
	必修	選択
広域発展看護学看護概論	1	
広域発展看護学実践論Ⅰ（地域に生きる人々と看護連携）	1	
広域発展看護学実践論Ⅱ（地域連携と社会システム）	1	
広域発展看護学実践論Ⅲ（在宅療養を支える看護）	1	
広域発展看護学実習Ⅰ（療養生活と看護の実際）	1	
広域発展看護学実習Ⅱ（在宅療養を支える看護の実際）	1	
災害看護論	1	
国際看護論	1	
看護生涯学習論	1	
がん看護論		1
パブリックヘルスケア論		1
ウィメンズヘルスケア論		1
健康支援方法論		1
クリティカルケア論		1
メンタルヘルスケア論		1
緩和ケア論		1
看護研究方法論	1	
看護研究演習Ⅰ	1	
看護研究演習Ⅱ	1	
看護実践能力の探究	1	
看護管理論	1	
総合実習	2	

○医療学部臨床検査学科

1. 総合基礎科目

(1) 人間と社会 (いのちの尊厳、人間の理解を深める)

① 心ころと身体

科目名	単位	
	必修	選択
生命と科学	1	
宗教と科学	1	
発生・分化・再生		1
生物学・遺伝学		1
化学		1
物理学		1
身体論Ⅰ (身体の人類学)	1	
身体論Ⅱ (身体の生理学)		1
心理学	1	
臨床心理学		1
発達とライフサイクル		1

② 生活と社会

科目名	単位	
	必修	選択
環境とくらし		1
文化とくらし	1	
政治経済とくらし	1	
法律とくらし		1
家族社会学		1

③ 芸術とコミュニケーション

科目名	単位	
	必修	選択
生命と芸術実践演習Ⅰ（複合身体表現A）		1
生命と芸術実践演習Ⅱ（複合身体表現B）		1
生命と芸術実践演習Ⅲ（演劇表現A）		1
生命と芸術実践演習Ⅳ（演劇表現B）		1
生命と芸術実践演習Ⅴ（身体表現A）		1
生命と芸術実践演習Ⅵ（身体表現B）		1
生命と芸術実践演習Ⅶ（複合コミュニケーション表現A）		1
生命と芸術実践演習Ⅷ（複合コミュニケーション表現B）		1

④ 言語と国際性

科目名	単位	
	必修	選択
英語Ⅰ Reading, Writing	1	
英語Ⅱ 英会話		1
英語Ⅲ 医療英語		1
外国語学研修		1

(2) 協働的医療実践の基礎

科目名	単位	
	必修	選択
人間関係とコミュニケーション	1	
相互扶助論Ⅰ（共同的活動演習）	1	
相互扶助論Ⅱ（援助・支援関係形成演習）		1
フレッシュマン・セミナー	1	
医療の歴史と現在	1	
医療における科学的思考	1	
保健統計学		1
医療安全学Ⅰ（概論）	1	
医療実践基礎実習	1	
情報科学演習Ⅰ（基礎）	1	
情報科学演習Ⅱ（応用）	1	

2. 共通専門基礎科目

(1) 体のしくみと医療

科目名	単位	
	必修	選択
医療概論	1	
生化学	1	
生化学実験	1	
栄養学	1	
臨床栄養学		1
薬理学Ⅰ（総論）	1	
薬理学Ⅱ（各論）		2
感染とその防御	1	
体のしくみと疾病の成り立ちⅠ（病態生理・骨格・神経・感覚）	2	
体のしくみと疾病の成り立ちⅡ（呼吸・循環）	2	
体のしくみと疾病の成り立ちⅢ（消化・栄養）	2	
体のしくみと疾病の成り立ちⅣ（腎尿路・内分泌）	2	
体のしくみと疾病の成り立ちⅤ（免疫・感染）	2	
体のしくみと疾病の成り立ちⅥ（生育・血液・代謝）	2	

(2) 協働的医療実践の展開

科目名	単位	
	必修	選択
関係法規		1
保健医療福祉行政論		1
衛生管理学	2	
社会福祉原論		1
障がい論		2
医療安全学Ⅱ（実践論）	1	
総合臨床演習	1	

3. 臨床検査学科専門科目

(1) 臨床検査ガイダンス

科目名	単位	
	必修	選択
臨床検査学序説	1	
臨床検査基礎実習Ⅰ（器具・試薬・鏡検）	1	
臨床検査基礎実習Ⅱ（秤量・泳動・鏡検）	1	

(2) 臨床病理学

科目名	単位	
	必修	選択
臨床病理学総論Ⅰ	1	
臨床病理学総論Ⅱ	1	
臨床病理学演習（実例解読）	1	

(3) 形態検査学

科目名	単位	
	必修	選択
病理学Ⅰ（総論）	1	
病理学Ⅱ（各論）	1	
病理組織検査学	1	
病理組織検査学実習Ⅰ（標本作成）	1	
病理組織検査学実習Ⅱ（鏡検）	1	
細胞診学	1	
血液検査学Ⅰ	1	
血液検査学Ⅱ	1	
血液検査学実習	1	
形態検査学特論		1

(4) 生物化学分析検査学

科目名	単位	
	必修	選択
臨床化学検査学総論	1	
臨床化学検査学各論Ⅰ	1	
臨床化学検査学各論Ⅱ	1	
臨床化学検査学実習	1	
生体構造代謝学	1	
環境検査学実習	1	
尿一般検査学	1	
尿一般検査学実習	1	
放射性同位元素検査学	1	
分子生物学	1	
分子生物学実習	1	
生物化学分析検査学特論		1

(5) 病因・生体防御検査学

科目名	単位	
	必修	選択
微生物検査学総論	1	
微生物検査学各論Ⅰ	1	
微生物検査学各論Ⅱ	1	
微生物検査学実習	2	
医動物検査学	1	
免疫検査学	1	
免疫検査学実習	1	
輸血・移植検査学	1	
輸血・移植検査学実習	1	
病因・生体防御検査学特論		1

(6) 生体機能検査学

科目名	単位	
	必修	選択
生体機能検査学総論	2	
生体機能検査学各論Ⅰ（呼吸）	1	
生体機能検査学各論Ⅱ（循環）	1	
生体機能検査学各論Ⅲ（神経）	1	
生体機能検査学各論Ⅳ（画像）	2	
生体機能検査学実習	2	
生体機能検査学特論		1

(7) 検査総合管理学

科目名	単位	
	必修	選択
検査管理学総論	1	
検査管理学演習		1
検査精度保証学	1	
検査情報システム学	1	
検査機器学	1	
医用基礎工学	1	
医用生体工学	1	
医用工学実習	1	
検査管理学特論		1

(8) 臨地実習・セミナー

科目名	単位	
	必修	選択
臨地実習	10	
卒業研究	7	
臨床研究論セミナー		1
臨床検査体験実習		2

別表 2 (第 6 2 条関係) 天理医療大学の入学金・授業料・実習費・教育設備充実費

学 年	入学金	授業料	実習料	教育設備充実費	合計
1 年次	300,000	1,090,000	200,000	250,000	1,840,000
2 年次	-	1,090,000	200,000	250,000	1,540,000
3 年次	-	1,090,000	200,000	250,000	1,540,000
4 年次	-	1,090,000	200,000	250,000	1,540,000

但し、平成 2 7 年度入学生 (第 4 期生) より適用する。

別表1（第30条関係）

○医療学部看護学科

1. 総合基礎科目

(1) 人間と社会（いのちの尊厳、人間の理解を深める）

① 心と身体

科目名	単位	
	必修	選択
生命と科学	1	
宗教と科学	1	
発生・分化・再生		1
生物学・遺伝学		1
化学		1
物理学		1
身体論Ⅰ（身体の人類学）	1	
身体論Ⅱ（身体の生理学）		1
心理学	1	
臨床心理学		1
発達とライフサイクル	1	

② 生活と社会

科目名	単位	
	必修	選択
環境とくらし		1
文化とくらし	1	
政治経済とくらし		1
法律とくらし		1
家族社会学		1

③ 芸術とコミュニケーション

科目名	単位	
	必修	選択
生命と芸術実践演習Ⅰ（複合身体表現A）		1
生命と芸術実践演習Ⅱ（複合身体表現B）		1
生命と芸術実践演習Ⅲ（演劇表現A）		1
生命と芸術実践演習Ⅳ（演劇表現B）		1
生命と芸術実践演習Ⅴ（身体表現A）		1
生命と芸術実践演習Ⅵ（身体表現B）		1
生命と芸術実践演習Ⅶ（複合コミュニケーション表現A）		1
生命と芸術実践演習Ⅷ（複合コミュニケーション表現B）		1

④ 言語と国際性

科目名	単位	
	必修	選択
英語Ⅰ Reading, Writing	1	
英語Ⅱ 英会話		1
英語Ⅲ 医療英語		1
外国語学研修		1

(2) 協働的医療実践の基礎

科目名	単位	
	必修	選択
人間関係とコミュニケーション	1	
相互扶助論Ⅰ（共同的活動演習）	1	
相互扶助論Ⅱ（援助・支援関係形成演習）		1
フレッシュマン・セミナー	1	
医療の歴史と現在		1
医療における科学的思考	1	
保健統計学	1	
医療安全学Ⅰ（概論）	1	
医療実践基礎実習	1	
情報科学演習Ⅰ（基礎）	1	
情報科学演習Ⅱ（応用）		1

2. 共通専門基礎科目

(1) 体のしくみと医療

科目名	単位	
	必修	選択
医療概論	1	
生化学	1	
生化学実験		1
栄養学	1	
臨床栄養学	1	
薬理学Ⅰ（総論）	1	
薬理学Ⅱ（各論）	2	
感染とその防御	1	
体のしくみと疾病の成り立ちⅠ（病態生理・骨格・神経・感覚）	2	
体のしくみと疾病の成り立ちⅡ（呼吸・循環）	2	
体のしくみと疾病の成り立ちⅢ（消化・栄養）	2	
体のしくみと疾病の成り立ちⅣ（腎尿路・内分泌）	2	
体のしくみと疾病の成り立ちⅤ（免疫・感染）	2	
体のしくみと疾病の成り立ちⅥ（生育・血液・代謝）	2	

(2) 協働的医療実践の展開

科目名	単位	
	必修	選択
関係法規	1	
保健医療福祉行政論	1	
衛生管理学		2
社会福祉原論	1	
障がい論	2	
医療安全学Ⅱ（実践論）		1
総合臨床演習		1

3. 看護学科専門科目

(1) 共通基盤看護学

科目名	単位	
	必修	選択
共通基盤看護学概論Ⅰ（看護の概念の探究）	2	
共通基盤看護学概論Ⅱ（発達段階の特徴と看護）	2	
実践基礎論Ⅰ（活動することを支える看護方法）	2	
実践基礎論Ⅱ（生きていくしくみを支える看護方法）	2	
実践基礎論Ⅲ（フィジカルアセスメント）	2	
実践基礎看護学実習（生活を整える看護）	1	
共通基盤看護学実習Ⅰ（看護過程と看護診断）	1	
共通基盤看護学実践論Ⅰ（健康回復過程を支える看護）	2	
共通基盤看護学実践論Ⅱ（セルフケアを支える看護）	2	
共通基盤看護学実践論Ⅲ（急性期療養過程を支える看護）	2	
共通基盤看護学実習Ⅱ（健康回復過程を支える看護）	2	
共通基盤看護学実習Ⅲ（セルフケアを支える看護）	2	
共通基盤看護学実習Ⅳ（急性期療養過程を支える看護）	2	

(2) 臨床応用看護学

科目名	単位	
	必修	選択
老年看護学概論	1	
老年看護学実践論Ⅰ（高齢者の健康）	1	
老年看護学実践論Ⅱ（高齢者の生活を支える看護）	1	
老年看護学実践論Ⅲ（特徴的疾患と看護）	1	
老年看護学実習Ⅰ（生活の場の変化と健康）	2	
老年看護学実習Ⅱ（健康レベルの変化に応じた看護）	2	
母性看護学概論	1	
母性看護学実践論Ⅰ（女性のライフサイクルと健康）	1	
母性看護学実践論Ⅱ（周産期の看護）	2	
母性看護学実習	2	
小児看護学概論	1	
小児看護学実践論Ⅰ（健康な子どもの発達と看護）	1	
小児看護学実践論Ⅱ（治療過程にある子どもと看護）	1	
小児看護学実践論Ⅲ（子どもの特徴的疾患と看護）	1	
小児看護学実習Ⅰ（健康な子どもの発育と看護）	1	
小児看護学実習Ⅱ（治療過程にある子どもと看護）	2	
精神看護学概論	1	
精神看護学実践論Ⅰ（こころの健康を支える）	1	
精神看護学実践論Ⅱ（生活の場における看護）	1	
精神看護学実践論Ⅲ（治療過程での看護）	1	
精神看護学実習Ⅰ（地域の支援と看護）	1	
精神看護学実習Ⅱ（医療施設における看護）	1	

(3) 広域発展看護学

科目名	単位	
	必修	選択
広域発展看護学看護概論	1	
広域発展看護学実践論Ⅰ（地域に生きる人々と看護連携）	1	
広域発展看護学実践論Ⅱ（地域連携と社会システム）	1	
広域発展看護学実践論Ⅲ（在宅療養を支える看護）	1	
広域発展看護学実習Ⅰ（療養生活と看護の実際）	1	
広域発展看護学実習Ⅱ（在宅療養を支える看護の実際）	1	
災害看護論	1	
国際看護論	1	
看護生涯学習論	1	
がん看護論		1
パブリックヘルスケア論		1
ウィメンズヘルスケア論		1
健康支援方法論		1
クリティカルケア論		1
メンタルヘルスケア論		1
緩和ケア論		1
看護研究方法論	1	
看護研究演習Ⅰ	1	
看護研究演習Ⅱ	1	
看護実践能力の探究	1	
看護管理論	1	
総合実習	2	

○医療学部臨床検査学科

1. 総合基礎科目

(1) 人間と社会 (いのちの尊厳、人間の理解を深める)

① 心ころと身体

科目名	単位	
	必修	選択
生命と科学	1	
宗教と科学	1	
発生・分化・再生		1
生物学・遺伝学		1
化学		1
物理学		1
身体論Ⅰ (身体の人類学)	1	
身体論Ⅱ (身体の生理学)		1
心理学	1	
臨床心理学		1
発達とライフサイクル		1

② 生活と社会

科目名	単位	
	必修	選択
環境とくらし		1
文化とくらし	1	
政治経済とくらし	1	
法律とくらし		1
家族社会学		1

③ 芸術とコミュニケーション

科目名	単位	
	必修	選択
生命と芸術実践演習Ⅰ（複合身体表現A）		1
生命と芸術実践演習Ⅱ（複合身体表現B）		1
生命と芸術実践演習Ⅲ（演劇表現A）		1
生命と芸術実践演習Ⅳ（演劇表現B）		1
生命と芸術実践演習Ⅴ（身体表現A）		1
生命と芸術実践演習Ⅵ（身体表現B）		1
生命と芸術実践演習Ⅶ（複合コミュニケーション表現A）		1
生命と芸術実践演習Ⅷ（複合コミュニケーション表現B）		1

④ 言語と国際性

科目名	単位	
	必修	選択
英語Ⅰ Reading, Writing	1	
英語Ⅱ 英会話		1
英語Ⅲ 医療英語		1
外国語学研修		1

(2) 協働的医療実践の基礎

科目名	単位	
	必修	選択
人間関係とコミュニケーション	1	
相互扶助論Ⅰ（共同的活動演習）	1	
相互扶助論Ⅱ（援助・支援関係形成演習）		1
フレッシュマン・セミナー	1	
医療の歴史と現在	1	
医療における科学的思考	1	
保健統計学		1
医療安全学Ⅰ（概論）	1	
医療実践基礎実習	1	
情報科学演習Ⅰ（基礎）	1	
情報科学演習Ⅱ（応用）	1	

2. 共通専門基礎科目

(1) 体のしくみと医療

科目名	単位	
	必修	選択
医療概論	1	
生化学	1	
生化学実験	1	
栄養学	1	
臨床栄養学		1
薬理学Ⅰ（総論）	1	
薬理学Ⅱ（各論）		2
感染とその防御	1	
体のしくみと疾病の成り立ちⅠ（病態生理・骨格・神経・感覚）	2	
体のしくみと疾病の成り立ちⅡ（呼吸・循環）	2	
体のしくみと疾病の成り立ちⅢ（消化・栄養）	2	
体のしくみと疾病の成り立ちⅣ（腎尿路・内分泌）	2	
体のしくみと疾病の成り立ちⅤ（免疫・感染）	2	
体のしくみと疾病の成り立ちⅥ（生育・血液・代謝）	2	

(2) 協働的医療実践の展開

科目名	単位	
	必修	選択
関係法規		1
保健医療福祉行政論		1
衛生管理学	2	
社会福祉原論		1
障がい論		2
医療安全学Ⅱ（実践論）	1	
総合臨床演習	1	

3. 臨床検査学科専門科目

(1) 臨床検査ガイダンス

科目名	単位	
	必修	選択
臨床検査学序説	1	
臨床検査基礎実習Ⅰ（器具・試薬・鏡検）	1	
臨床検査基礎実習Ⅱ（秤量・泳動・鏡検）	1	

(2) 臨床病理学

科目名	単位	
	必修	選択
臨床病理学総論Ⅰ	1	
臨床病理学総論Ⅱ	1	
臨床病理学演習（実例解読）	1	

(3) 形態検査学

科目名	単位	
	必修	選択
病理学Ⅰ（総論）	1	
病理学Ⅱ（各論）	1	
病理組織検査学	1	
病理組織検査学実習Ⅰ（標本作成）	1	
病理組織検査学実習Ⅱ（鏡検）	1	
細胞診学	1	
血液検査学Ⅰ	1	
血液検査学Ⅱ	1	
血液検査学実習	1	
形態検査学特論		1

(4) 生物化学分析検査学

科目名	単位	
	必修	選択
臨床化学検査学総論	1	
臨床化学検査学各論Ⅰ	1	
臨床化学検査学各論Ⅱ	1	
臨床化学検査学実習	1	
生体構造代謝学	1	
環境検査学実習	1	
尿一般検査学	1	
尿一般検査学実習	1	
放射性同位元素検査学	1	
分子生物学	1	
分子生物学実習	1	
生物化学分析検査学特論		1

(5) 病因・生体防御検査学

科目名	単位	
	必修	選択
微生物検査学総論	1	
微生物検査学各論Ⅰ	1	
微生物検査学各論Ⅱ	1	
微生物検査学実習	2	
医動物検査学	1	
免疫検査学	1	
免疫検査学実習	1	
輸血・移植検査学	1	
輸血・移植検査学実習	1	
病因・生体防御検査学特論		1

(6) 生体機能検査学

科目名	単位	
	必修	選択
生体機能検査学総論	2	
生体機能検査学各論Ⅰ（呼吸）	1	
生体機能検査学各論Ⅱ（循環）	1	
生体機能検査学各論Ⅲ（神経）	1	
生体機能検査学各論Ⅳ（画像）	2	
生体機能検査学実習	2	
生体機能検査学特論		1

(7) 検査総合管理学

科目名	単位	
	必修	選択
検査管理学総論	1	
検査管理学演習		1
検査精度保証学	1	
検査情報システム学	1	
検査機器学	1	
医用基礎工学	1	
医用生体工学	1	
医用工学実習	1	
検査管理学特論		1

(8) 臨地実習・セミナー

科目名	単位	
	必修	選択
臨地実習	10	
卒業研究	7	
臨床研究論セミナー		1
臨床検査体験実習		2

別表2（第62条関係） 天理医療大学の入学金・授業料・実習費・教育設備充実費

学 年	入学金	授業料	実習料	教育設備充実費	合計
1年次	300,000	1,090,000	200,000	250,000	1,840,000
2年次	-	1,090,000	200,000	250,000	1,540,000
3年次	-	1,090,000	200,000	250,000	1,540,000
4年次	-	1,090,000	200,000	250,000	1,540,000

但し、平成27年度入学生（第4期生）より適用する。